公園デビューしませんか

特集 Let's go to the park

新緑の5月、穏やかな天気に恵まれる日も多くなり、お出掛けしやすい季節になりました。

外に出掛けたいけど、どこに行ったらいいか分からない―。そんな時は、家からすぐ近くにある公園に、家族みんなで遊びに行きませんか。

市内には、広い芝生のある公園や草花を楽しめる公園、遊具がいっぱいある公園など、子どもから大人まで楽しめる公園がいっぱい。

公園の種類にもさまざまなものがありますが、今回の特集では「都市公園」について紹介します。

風薫る季節、公園をあまり利用したことがない方や、今年まだ行っていないという方も、この機会に公園デビューしてみませんか。

都市公園について知ろう！

市内の都市公園は現在20カ所あり、市民の休息、鑑賞、遊戯、運動など総合的な利用のほか、災害時の一時的避難場所として配置されています。

また、一本木公園、高梨館跡公園、北公園および北信濃ふるさとの森文化公園は、市が指定した「指定管理者」が管理を行っており、設備の維持管理のほか、多くの方に利用していただけるよう、自主事業（イベントなど）を行っています。

使用上の注意

皆さんが利用する公園です。次のマナーを守って使用しましょう。

①公園の植物などを伐採・採取しないこと
②公園の遊具・トイレなどを損傷・汚損しないこと
③大きな音を出して近隣住民の迷惑にならないこと

また、ゴミなどは各自持ち帰り、誰もが気持ちよく利用できるようにしましょう。

問い合わせ先
都市計画課街路公園係
☎㉒2111（内線270）

担当者にinterview

都市計画課　金井主事

都市公園の遊具や休憩施設などは、毎年４回程度の点検をしており、古くなったり傷みのある場合は、必要に応じて修繕や更新を行っています。子どもの時以来行っていないという方も、遊具などが更新され幼い頃とは違った雰囲気の公園に、今度は自分のお子さんを連れて出掛けていただければと思います。

皆さんのための公園なので、使用上の注意を守っていただきながら、多くの方に使用していただきたいと思います。

また、市では、けがや事故がないよう、定期的に公園点検を行っていますが、利用される皆さんでお気付きの点がありましたら都市計画課までご連絡ください。

指定管理者にinterview

一般社団法人
一本木公園バラの会の皆さん

会員の皆さんが年間を通して月に２～３回程度、公園の清掃や除草作業を行っているほか、作業員の皆さんが園内の植栽の管理を行っています。

春～夏にかけての除草作業やバラまつり期間中の枯れたバラの花摘み作業は大変ですが、来ていただいた方に「きれいだね」「手入れが良いね」と言われると、とてもうれしい気持ちになります。

また、会員の皆さんが「ボランティア」として参加いただき、会が成り立っていることは、とても誇れることだと思います。今年もバラまつりの季節となりましたので、ぜひ皆さんにもご来場いただき、何か不明な点などあれば、私たちに気軽に声を掛けていただければと思います。

一本木公園

（平成26年6月撮影）

1984年に市民の憩いの場として開設された一本木公園。故黒岩喜久雄氏が自宅で育てていた172種179株のバラの成木を本市に寄付され、一本木公園に移植されたことが契機となり、現在では県内でも有数の種類と株数を誇るバラ園として有名になりました。

指定管理者の一般社団法人一本木公園バラの会の皆さんがバラの手入れをはじめ、公園全体の管理を行っています。

園内には、バラのほかにも桜やさまざまな宿根草など、四季折々に楽しむことができる花々が咲き誇ります。

また、明治中期の洋風建築である旧中野小学校校舎が移築され、信州中野銅石版画ミュージアムや一本木公園展示館が併設されているほか、子どもたちが夢中になって遊べる遊具や広い芝生など、大人から子どもまで年間を通して楽しむことができます。

▲園内には「ブランコ」や「すべり台」など遊具も充実しています

◀バラのほかにも四季折々に花が咲き誇ります